

高純度 (B)フッ化ストロンチウム

MSDS No. 051509

作成：1993年3月10日

改訂：2007年10月4日

1. 製品及び会社情報

会社：ステラ ケミファ株式会社
住所：〒541-0047 大阪市中央区淡路町3丁目6番3号 NMプラザ御堂筋3F
電話番号：06-4707-1511
FAX番号：06-4707-1521
メールアドレス：kanri@stella-chemifa.co.jp
担当部門：営業部
電話番号：(大阪) 06-4707-1515、(東京) 03-3538-1901
FAX番号：(大阪) 06-4707-1518、(東京) 03-3538-1903
メールアドレス：(大阪) osaka@stella-chemifa.co.jp、(東京) tokyo@stella-chemifa.co.jp
緊急連絡先：三宝工場 (072-229-3107)

製品の名称 (和名)：高純度 (B)フッ化ストロンチウム

製品の名称 (英名)：High-Purity Strontium Fluoride B grade

推奨用途及び使用上の制限：ガラス (レンズ) 材料

2. 危険有害性の要約^{2) 4) 6)}

GHS分類；

健康に対する有害性：皮膚腐食/刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分2
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素；

絵表示又はシンボル：警告、健康有害性



注意喚起語：警告

危険有害性情報：

皮膚腐食/刺激性：皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷/刺激性：眼刺激

特定標的臓器/全身毒性 - 反復暴露：長期または反復暴露による臓器（歯、骨）の障害のおそれ

注意書き：

[予防策] 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避け、吸入しないこと。

保護マスク、保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

[対応] 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/

取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで15分以上洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類は洗濯をすること。

眼に入った場合：流水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを

着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

大量の水を飲ませる。その後ミルクを与えてもよい。

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

いずれの場合も速やかに医師の診断を受ける。

[保管] 一定の場所を定めて貯蔵すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

[廃棄] 廃液、汚泥等は関係法令にもとづき、自社で適正に処理するか、または

廃棄物処理業者に委託して処理すること。

化学物質・混合物の区別：単一化学物質

化学名または一般名：フッ化ストロンチウム

別名： -

化学特性：含有量 SrF₂：99%

化学式又は構造式 SrF₂

分子量 SrF₂=125.62

化審法番号：1-347

安衛法番号：化審法既存1-347

CAS番号：7783-48-4

危険有害成分：フッ化ストロンチウム

GHS分類に寄与する不純物：なし

及び安定化添加物

4 . 応急措置^{4) 6)}

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移す。鼻をかむ。うがいをする。

場合により酸素吸入。

皮膚に付着した場合：汚染された衣服等を脱がせ、直ちに流水で15分以上洗い流す。

目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗い流す。

飲み込んだ場合：大量の水を飲ませる。後ミルクを与えてもよい。

吐かせると粘膜等をより悪化させる。

いずれの場合もすみやかに医師の診断を受ける。

5 . 火災時の処置⁴⁾

消火剤：適用なし（本品不燃性）

消火方法：本品不燃性

危険有害性：火災時は火から遠ざける。間に合わぬ場合容器に水をかけ冷却する。

消火を行う者の保護：消火活動時保護具及び空気呼吸器着用。

6 . 漏出時の処置^{4) 6)}

人体に対する注意事項：関係者以外立ち入り禁止。作業者は保護具着用。

・保護具及び緊急時措置 風下で作業しない。

環境に対する注意事項：要排水処理

封じ込め及び浄化の方法・機材：空容器に出来るだけ回収する。その後、大量の水で洗い流す。

風下の人を避難させる。関係者以外立ち入り禁止。

二次災害の防止策：貯蔵・取扱の場所の床面は、地下浸透防止が出来る材質とする。

また、床面等ひび割れのないように管理する。

取扱い；

技術的対策：保護眼鏡、保護手袋、
保護マスクを着用する。

局所排気・全体換気：8. 暴露防止および保護措置を参照

注意事項：作業終了時身体を洗う
汚染した衣類等は洗濯しておく
作業場には安全シャワー、洗眼器等を設置し表示しておく。

保管；

技術的対策：床面等は、万一、漏洩があっても公共水域への流出及び地下への浸透が
起こらないようにする。

混触禁止物質：データなし

適切な保管条件：容器は密封する。

推奨容器包装材料：データなし

8. 暴露防止及び保護措置⁴⁾⁵⁾⁶⁾

管理濃度：データなし

許容濃度：日本産衛学会（2005年版） データなし
ACGIH（2005年版） 3ppm (as F)

設備対策：局所排気、全体換気
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、
その位置を明示する。

保護具：

[呼吸器の保護具] 保護マスク

[手の保護具] 保護手袋

[眼の保護具] 保護メガネ

衛生対策：保護具は保護具点検表により定期的に点検する。
作業中は飲食・喫煙はしない。
飲食、喫煙前には石鹸で手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質¹⁾⁶⁾

物理的性状及び色：白色粉末

臭い：無臭

密度：4.24

融点（ ）：1190

沸点（ ）：2460

pH及びその濃度：データなし

水に対する溶解性：0.12g/100g水@27

引火点：なし

発火点：なし

爆発範囲：なし

10. 安定性及び反応性¹⁾⁶⁾

安定性：空气中で強熱するとフッ化水素ガスを発生。

反応性：酸と反応してフッ化水素ガスを発生。

危険有害な分解生成物：フッ化水素ガス

急性毒性： SrF2 静脈内 ラット LDLo 625mg/kg

局所効果： 目を刺激し炎症を起こす

慢性毒性： フッ素慢性毒性（斑状歯、フッ素骨沈着等）

がん原性： OSHA、NTP発がん性物質リストに記載なし。

IARC発がん性物質リスト該当せず

1 2 . 環境影響情報

環境中での生態毒性： データなし

1 3 . 廃棄上の注意^{4) 6)}

廃棄方法：

都道府県知事等の許可を受けた処分業者に委託。

関係法令を遵守し、適正に処分すること。

廃棄規制： 排水は、水素イオン濃度、フッ素含有量等が規制値に適合していること。

（PHの規制値：5.8～8.6）

（フッ素の規制値：海域以外の公共用水域では8mg/L、海域では15mg/L）

その他条例等で上乗せされた規制がある場合はその値による

1 4 . 輸送上の注意⁴⁾

国際規制；

海上規制情報：

[UN No.] 該当なし

[Proper Shipping Name] 該当なし

[Class] 該当なし

[Sub Risk] 該当なし

[Packing Group] 該当なし

[Marine Pollutant] 該当なし

航空規制情報： 該当なし

[UN No.] 該当なし

[Proper Shipping Name] 該当なし

[Class] 該当なし

[Sub Risk] 該当なし

[Packing Group] 該当なし

陸上規制情報：該当なし

海上規制情報：該当なし

[国連番号] 該当なし

[品名] 該当なし

[クラス] 該当なし

[副次危険] 該当なし

[容器等級] 該当なし

[海洋汚染物質] 非該当

航空規制情報：該当なし

[国連番号] 該当なし

[品名] 該当なし

[クラス] 該当なし

[副次危険] 該当なし

[等級] 該当なし

特別の安全対策：輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

主な適用法規：

水質汚濁防止法（人の健康に係わる物質：フッ素）

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ：ステラ ケミファ株式会社 品質管理部 矢崎洋史（作成者）

〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町7丁227番地 Tel.No.072-229-3106

引用文献：1) KIRK-OTHMER "ENCYCLOPEDIA OF CHEMICAL TECHNOLOGY" Forth Edition

2) 堀口博「公害と毒・危険物」無機編 三共出版株式会社

3) RTECS (NIOSH) - 2000

4) 「毒物劇物取扱の手引」厚生省薬務局安全課監修 時事通信社

5) 「米国OSHA危険有害性の周知基準(第4版)」(社)日本化学物質安全情報センター

6) "ChemicalDataSheetSD-25HydrofluoricAcid"

ManufacturingChemistsAssociation

危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分注意して下さい。
また、記載されている含有量、物理化学的性質等に関する値は保証値ではありません。